

8-4-42 照査特別WG

1. 主な活動の記録

本WGの主たる活動である「品質委員会/品質セミナー」は平成12年度から継続的に開催している重要な協会活動であり、今年度で22回目を数える。

品質セミナーは「エラー事例を把握することで同様・類似のエラー発生を防ぐ」、及び「エラーに対する分析や改善策を把握することで、品質の維持・向上への具体策やヒントを知ること」を目的に、管理・照査技術者、若手技術者などの実務者層を対象に実施した。

令和3年度のセミナープログラムは、品質委員会による活動概要・業界動向説明、品質向上専門委員会による各企業の品質確保・向上のための取組みをコロナ禍での取組も含め紹介、照査特別WGからはエラー事例の技術的分析と改善策として道路、橋梁、土質・地質、港湾、河川、砂防・急傾斜に隔年開催となる鉄道を加えた7分野での事例紹介とその解説を実施した。

(1) 照査特別WGの構成

令和3年度も技術部会の道路、道路構造物、河川構造物、土質・地質、ダム・発電、砂防・急傾斜、鉄道、港湾の8つの専門委員会委員によりWGを組織し、11月のセミナー開催に向けてWG活動を推進した。

(2) 照査特別WGの開催

WG開催：5回（4～9月）

セミナー講師全体リハーサル：1回（10月）

(3) 品質セミナー資料の作成と更新

エラー事例は各支部での収集活動を継続とともに、本部専門委員会でも収集し、新規に141事例を追加した。新規事例も含め、エラーの技術的分析と対応策を盛り込んだ令和3年度版のセミナーテキスト『エラー防止のために参考資料』（2,143事例、全1,285ページ、ダウンロード配布）ならびにこれに基づくプレゼンテーション資料を作成し、セミナー開催後は会員HPへの掲載も行った。

また、改定された「詳細設計照査要領」の適

用性の確認や港湾専門委員会が独自に作成した港湾関係・詳細設計照査要領(案)を更新し、配布した。

表. 令和3年度品質セミナープログラム

①品質委員会の活動概況と設計瑕疵等の動向	
②国土交通省品質確保対策への対応	
③「品質向上推進ガイドライン」の活用ツール	
④「コロナ禍をチャンスに変える」品質管理の工夫	
③エラーの技術的分析と改善策	(1) 道路／トンネル
	(2) 橋梁
	(3) 鉄道（隔年開催）
	(4) 土質・地質
	(5) 港湾（毎年開催へ変更）
	(6) 河川構造物
	(7) 砂防・急傾斜

(4) 品質セミナーの開催

これら準備のもと、全国9支部の協力を得て、「品質委員会/品質セミナー～品質の確保・向上に向けて～」を11月にオンラインセミナー（ビデオ配信）にて開催した。

参加者数（全体）は、過去最多の参加者となつた昨年度よりも減少したが、過去2番目の人数（1,784名）となった。

アンケート結果からは、今後も改善の余地はあるが発注者も含めて内容等への評価は総じて高く、継続を望む声が多かった。なお、オンラインセミナーによる開催は参加者の要望が多いことから今後も継続する予定である。

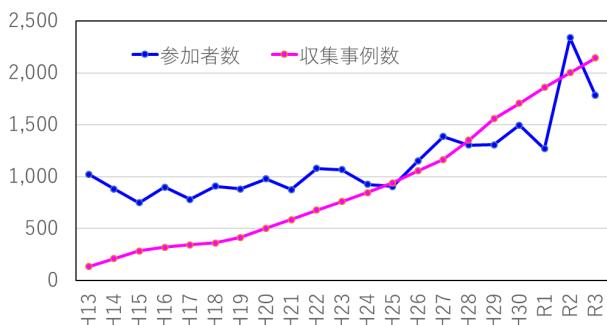


図. 参加者数及び事例収集状況の経年変化

2. 次年度の活動について

令和4年度も引き続き品質セミナーを開催する予定である。内容の企画については、令和3年度のアンケート等を踏まえ、更に満足度が向上するよう全国各支部や本部専門委員会の協力を得ながら、品質委員会、照査特別WG等で検討する。

（照査特別WG WG長 磐部 滋）